

## 2025 ミス日本「海の日」 高橋彩乃さん活動開始

ー海の魅力を多くの人へー

今年の 1 月 27 日、京王プラザホテルで開催された第 57 回ミス日本コンテスト 2025 で、ミス日本「海の日」に高橋彩乃さんが選ばれた。2025 年の 1 年間「海の日」の意義や海洋国日本を支える海事産業の重要性の周知広報、海の安全啓発活動などを行う高橋さんに、受賞の感想や海の思い出、今後の活動について伺った。

ーミス日本「海の日」で名前を呼ばれたときはいかがでしたか

あの時はまず驚いて、信じられない気持ちでしたが、今はこのような榮譽ある賞を受賞できたことを大変嬉しく思っております。これから本格的に始まるミス日本「海の日」の活動では、中央大学理工学部で学んでいる生命科学の知識を活かして、日本の海魅力を発信するとともに、一人ひとりができることを考え、行動につなげるきっかけ作りができたらと思っています。

ー印象に残る海の思い出を教えてください

小学生時代のハワイ旅行のとき、楽しみにしていたイルカウォッチングツアーに参加しました。ワクワクしながら船に乗り込み、青い海を進みましたが、残念ながらその日はイルカに出会えませんでした。でも、広がる水平線やキラキラと輝く海、心地よい潮風を感じながらのクルーズは、それだけでも最高の体験になりました！

イルカには会えなかったけれど「またいつかチャレンジしよう」と誓った、忘れられない海の思い出です。

ー海について思うことを教えてください

海は、地球上で最も豊かな生態系のひとつです。広大な海には、現在私が研究しているような目に見えない微生物から巨大なクジラまで、驚くほど多様な生き物が暮らしています。その複雑なつながりが、私たちの生活にも深く関わり、海を豊かにしています。

たとえば、海のプランクトンは酸素を生み出し、気候を調整する役割を担っていますし、サンゴ礁は多くの生物の住処になっています。ですが、温暖化やプラスチックごみの問題が生態系に影響を与え、海の多様性が失われつつある現実もまたあります。

海は美しく、豊かな生命を育む場であると同時に、そのバランスが繊細であることを考えさせられる場所だと思います。

生物多様性を守ることは海を守ることです。そして、ひいてはそれが私たちの未来につながっていると思います。

「海員日より」